

## 活動報告書

団体名	特定非営利活動団体 たてやま・海辺の鑑定団
実施事業	沖ノ島写真展
実施期間	2019年11月18日～12月1日
助成金額	100,000円

### 実施した事業の内容・成果

#### <実施内容>

多くの参加者が見込める11月24日の「里海博2019」に合わせて、台風15号による沖ノ島の被災状況を伝える写真展を開催した。

台風の影響を受けた事実を地域内外に知ってもらい、台風15号被害からの再生を鑑みた自然環境の保全と活用の両立を考えてもらう機会とした。

#### <実施詳細>

日時：2019年11月18日(月)～12月1日(日) ※期間を1週間延長した。

会場：館山市市民ギャラリー

参加人数：122人(シンポジウム参加者数でカウント)

内容：

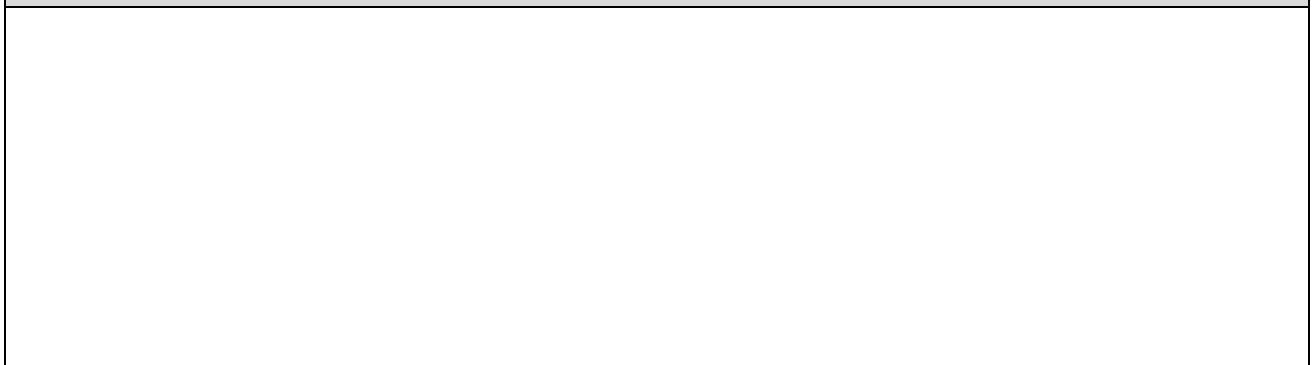
- ・台風15号による沖ノ島の被災状況の写真42枚展示した。
- ・「沖ノ島写真展」での参加者アンケートを実施し、5名から貴重な意見を回収した。
- ・被災状況の写真を見て応援メッセージボードの作成しその場で記入していただいた。
- ・成果物としてまとめ、現在も渚の駅館山で展示し情報発信している。

※同時開催の「里海博2019」のプログラム：体験イベントを行った。(水中観光船からの種まきイベント、ものづくりイベント、展示ブース、ポイントラリー、シンポジウムなど)

#### <成果>

台風15.19.21号の接近により、地域社会に大きな影響を与えた。沖ノ島も大きな影響を受けた。同時開催で行われたシンポジウム「里海博2019」は、自粛ムードにより開催が、危ぶまれたが地域の元気を取り戻す活動として開催した。さらに本事業による沖ノ島写真展は、沖ノ島の台風後の様子と同時に自然の楽しさ、大切さも伝えることができた。シンポジウム及び写真展には、122人が来場し、沖ノ島や海の現状について伝えることができた。さらに多くの皆様が沖ノ島の再生を応援いただいていることがアンケートや、メッセージボードから読み取ることができた。

### 活動の様子



●写真展の様子(渚の駅市民ギャラリー)



(台風前の活動写真 台風後の様子や再生に取り組む写真)



(メッセージボード アンケート)

●里海博の様子



(クラフト教室 船上からのアマモ種まき)



(子供たちも参加した シンポジウム里海博 2019)

●アンケート・メッセージボードを渚の駅に展示(現在も継続中)



## 決算報告

### 収入

費目		金額(円)
2019 千葉県台風・豪雨災害支援基金助成金		100,000
その他	自己資金	776
収入合計		100,776円

### 支出

費目	算出根拠	金額(円)
人件費	@1,100×24時間(6日間)	26,400
//	@1,100×21時間(5日間)	23,100
//	@1,100×7時間(2日間)	7,700
//	@1,100×10時間(3日間)	11,000
//	@1,100×8時間(2日間)	8,800
//	@1,100×14時間(4日間)	15,400
//	@1,100×3時間(1日間)	3,300
	※振込額は他の活動も含めた総額	
消耗品費	プリント代 80円×51枚=4,080円 アンケート印刷 1円×102枚=102円 展示備品 プリットひつつき虫 864円	5,076
支出合計		100,776円

### 寄付者へのメッセージ

この度は、ご支援いただきましてありがとうございました。南房総・館山エリアは、2019年の台風15.19.21号にて、大きな影響を受けました。それは当地に限ったことではなく、全国各地で大きな影響でした。その中でも当地にご支援いただきましたことは本当に有難いことと感じています。中でも台風15号で受けた影響は、当地域全体に大きく影響し、今現在でも復旧・復興が進行中です。

当団体は、南房総・館山沖ノ島を中心として、豊かな海辺の自然環境を守り伝える活動を行っていますので、これからも海を中心とした、環境再生と、体験プログラムなどの実施を通じて、地域の元気を取り戻していきたいと思っております。

### 今後の活動

南房総・館山エリアにとって沖ノ島周辺は、重要な自然資源であり、観光資源です。大きく影響を受けてしまった沖ノ島の再生には、長い時間がかかると思っております。

今後は、時間はかかることは前提として、沖ノ島の森林や、海辺環境が50年後の未来に継続されていくことを目標にし、自然の力による再生を、自然に寄り添いながら実現できるように、専門家による調査と再生の為の方向付けを、管理者である館山市とともに行います。その中で、多くの沖ノ島や自然を愛する皆さまとともに、再生に取り組めるような仕組みを作り、未来に自然環境をつなげていきたいと考えています。